



# 兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2025 3



2月6日にオンラインで行われた「都道府県協同組合連携組織 全国交流会議」に参加しました。

日本協同組合連携機構（JCA）からの報告や、北海道・神奈川・岐阜・愛知の協同組合連携組織からの事例報告、グループに分かれての意見交換などがありました。協同組合同士が連携を強めていくためにはどうしたらいいか、全国の当事者同士で、具体的な課題についての意見交換をすることができ、刺激の多い機会となりました。



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます



兵庫県漁業協同組合連合会  
専務理事

## 田中 稔彦 (たなか・なるひこ)

# 豊かな海の再生を目指して

兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）幹事をしていす兵庫県漁業協同組合連合会（以下…県漁連）の田中稔彦です。コラム記載の機会をいただいたので県漁連が重要課題として先人から取り組んでいる「豊かな海の再生」について取上げさせていただきます。

瀬戸内海がほどよくきれいになっていった1990年代後半、「窒素やリン」といった海の生き物の命を支える栄養塩が汚濁物質と指定され、排水から徹底的に取り除く下水処理規制技術の高度化等が更に進み、海水の貧栄養化に拍車がかかりました。海中の栄養塩不足によって養殖ノリが色落ちするようになり、同時に漁船漁業の漁獲量が年々減少し始めました。1990年代後半まで安定して6万トン前後獲れていた兵庫県内海側の漁獲量は、この30年間減少し続け、現在は3万トンを下回っています。

2000年代に入っても総量削減により海域の貧栄養化は年々深刻なものとなり、加えて近年の高水温の影響など、様々な海洋環境の激変によって、エビ、カニ、カレイなど底魚を中心に年々水産資源が減少しています。その中でも兵庫県を代表するイカナゴの漁獲量はピークの1万トンから2017年以降は1,000トン台以下に、マダコは3,000トンから2022年は700トンに激減しています。特に、イカナゴは貧栄養化に伴う資源の減少が顕著であり、2024年漁期には大阪湾では自主休漁、播磨灘では1日のみの操業にも関わらず、現状では資源

回復に至っておりません。貧栄養化の主因は、兵庫県の窒素発生負荷量が1994年の95トン（一日当たり）から2019年には48トンに減少していることです。

県漁連として、貧栄養になった瀬戸内海から良好な漁場環境と水産資源を回復させることを目指し、瀬戸内海環境保全特別措置法の改正等の豊かな海に向けた漁政活動に取り組んできました。

これらの取組みにより、国に栄養塩類管理制度が創設され、県は水質規制から水質管理へ変わり県条例を改正し、海域での窒素・リンの望ましい栄養塩類濃度（下限値）として、全窒素・0.2mg/L、全リン・0.02mg/Lを設定、また、栄養塩類管理計画を策定し、沿岸の下水処理場からの栄養塩類増加措置として、排水中の窒素濃度を増やしています。

しかしながら、播磨灘、大阪湾西部海域の大半の全窒素濃度は現在も下限値を下回る状態にあります。

このため、県漁連で組織する「ひょうご豊かな海推進研究会」は豊かな海を取り戻そうと貧栄養化した漁場で漁業者による肥料を用いた栄養供給試験（施肥）を実施し、藻場や生物に与える効果検証を進めています。施肥によって、魚の棲み処となる藻場や餌となるプランクトンの増加などの効果が見込まれます。

このような適切な栄養塩類の添加活動が多くの人からの理解や協力が得られることを願ってやみません。

CONTENTS	
2. 想点	6. 協同組合のかけ橋
3. 虹の仲間づくりカレッジ報告	7. 兵庫県のページ/ヨッシーの窓
4. 第5回理事会報告/組合員の参加を考える研究会	8. 平和映画会のお知らせ/ IYC2025についてロゴなどの紹介/ 県連行事予定/編集後記
5. 第23回税務・経理講習会/健チャレ委員会/ 健チャレ2025報告	

# 兵庫 JCC 第9期虹の仲間づくりカレッジ 実践報告会

2月19日、兵庫 JCC 虹の仲間づくりカレッジの実践報告会を開催しました。メンバーは協同組合が取り組むべき社会的課題のテーマをもとに8月に4つのグループを結成し、課題を設定し、さまざまな協同組合のメンバーと協働しながら実践をしました。

## 各チームの発表内容

チーム名  
「まなび」

テーマ  
「[参加] へつなげるきっかけづくり」



### メンバー

生活協同組合コープこうべ	伊藤 大貴さん
生活協同組合コープこうべ	若林 貴文さん
生活クラブ生活協同組合都市生活	鈴木 俊幸さん
兵庫南農業協同組合	大村谷英樹さん

### 実践内容

農業未体験者の親子向けに、エコファームでの農業体験を通して子どもの成長を知ってもらう。地域性に関わらず参加できる企画を共有し、今後の「参加」も促す。

チーム名  
「作り手の想い伝え隊」

テーマ  
「エシカル消費の価値を理解してもらう」



### メンバー

兵庫南農業協同組合	平山 雄志さん
尼崎医療生活協同組合	向井 章雄さん
生活協同組合コープこうべ	羽生 輝さん
生活協同組合コープこうべ	光本 幸平さん
兵庫南農業協同組合	内村佳奈美さん

### 実践内容

JA 兵庫南管内にある（直売所）にじいろふあーみんに来店する方に、エシカルクイズラリーを実施し、意識調査やエシカル商品の紹介や試食を行う。

チーム名  
「つながり」

テーマ  
「地域のつながりのきっかけ作り」



### メンバー

兵庫南農業協同組合	岡本 和広さん
生活協同組合コープこうべ	有谷 重昭さん
兵庫県漁業協同組合連合会	鳥山 英則さん
生活協同組合コープ自然派兵庫	上月 七海さん
兵庫県農業協同組合中央会	林 謙介さん

### 実践内容

年金受給者にJAから誕生日プレゼントをお渡しする時に、アンケートで困りごとや要望を聞きだし、協同組合の力でできることを検討する。

チーム名  
「食べるの大好き 中村ゼミ」

テーマ  
「野菜と魚をもっと食べてもらおう !!」



### メンバー

生活協同組合コープこうべ	中村 直也さん
生活協同組合コープこうべ	真鍋 敦子さん
生活協同組合コープ自然派兵庫	徳永 麗さん
兵庫県漁業協同組合連合会	天川 源さん
兵庫県漁業協同組合連合会	大山 紗和さん

### 実践内容

親子向けに、魚や野菜をより身近に感じてもらえるゲーム・体験を実施し、その食材を使った調理実習を行う。協同組合が取り扱っている商品の特徴を知ってもらい、よりおいしく食べてもらう。

県内さまざまな協同組合から集まった全19人・4チームから、国際協同組合年（IYC2025）にふさわしい活気に満ちた報告がされました。

各チームの報告内容について、兵庫 JCC の幹事である兵庫県漁業協同組合連合会 田中 稔彦 専務理事や生活協同組合コープこうべ 多村 孝子 常務理事をはじめ、チームメンバーから感想などが述べられ、協同組合間協同について改めて意見を交わしました。



田中 稔彦 専務理事



多村 孝子 常務理事

# 2024年度 兵庫県生協連 第5回理事会報告

- 開催日時 2025年2月3日 14:00～15:30
- 開催会場 神戸商工貿易センタービル26階 第5会議室
- 出席者 岩山会長理事、末松副会長理事、江見専務理事、若生、中野、小谷、松永、森本、岡田、矢田、清宮（以上、理事）、瀬井、多村、柏原（以上、監事）

## 議決事項

1. 事務所移転積立金取り崩しについて

## 報告事項

1. 2024年決算見通しと2025年度予算案について
2. 2024年度活動報告（1月まで）及び2025年度活動計画（素案）について
3. 分野別生協・団体からの活動報告（各理事・監事より）
4. 2025年度第75回通常総会に向けての手順スケジュール案について
5. ひょうごまるごと健康チャレンジ参加状況報告
6. その他（県連関連行事、諸活動報告 12/3～2/2）



## 第4回 組合員の参加を考える研究会 を開催しました

2月10日に2024年度第4回「組合員の参加を考える研究会」を神戸商工貿易センタービル26階会議室にて開催しました。年度の最終回となる今回は、生活協同組合コープみやざき顧問の真方 和男氏にオンラインでご講演をいただき、会場に集まった研究会メンバー8人に加えて、オンライン12人の計20人が参加するハイブリッド拡大版となりました。

真方氏の講演では、コープみやざきがつくりあげてきた基本方針に沿って実践されている組合員との関係づくりについてや、職員の「組合員の声を聴くこと」の実例の一部を紹介いただきました。講演後の質疑も活発に出され、組合員はどのような存在かを全職員がぶれなく認識すること、組合員の笑顔のために一人ひとりが判断し行動することなどについて、深く理解をすることが出来ました。参加者からは「貴重な話を聴けて良かった」との感想が多く寄せられました。



コープみやざき  
真方 和男氏



研究会メンバーは講演後も議論を交わし、組合員の参加について意見交換しました

## 第23回税務・経理講習会

1月21日 兵庫県生協連主催の「第22回税務・経理講習会」を会場参加とオンライン（Zoom）の併用で開催し、会場参加11名を含む29名（7会員生協 7子会社）が参加しました。

税理士の江藤俊哉氏から綿密な資料に基づき「2024年度税制改正」「新リース会計基準と税務の注意点」「決算と税務に関する注意事項」などについて詳しく講義いただきました。

受講者からは「新リース会計については、自分自身が知識不足のため難しかったです。資料が分かりやすくまとめられていたので助かりました」「新リース会計基準については引き続き次年度にも講習をお願いしたいです。特に賃貸借契約と物件リースなど具体例を挙げていただくとありがたいです。」「経営に関する内容全般において、引き続き学習の機会を設けていただけますと助かります」などの感想が寄せられました。



講師 江藤 俊哉税理士



会場参加の様子



## ひょうごまるごと健康チャレンジ2024

### 結果報告



「ひょうごまるごと健康チャレンジ」は運動・生活習慣・リフレッシュ・食事コースから選んだものを継続することで楽しみながら健康な生活習慣を身につける取り組みです。2024年度も7月20日～11月30日に実施し、昨年を上回る約6,600人が参加しました。

2024  
健康チャレンジ

### 参加者の声

- カレンダーに記入することで30日を目標に頑張ることができた。階段を使用すると息切れ・足の疲れがあるが、少し軽減してきたように思う。
- 毎日、朝・夜と欠かさず腹式呼吸を実施した。お腹まわりがスリムになった気がして嬉しいです。
- 意識して階段を利用していたら、いつの間にかそれが普通になっていた。
- 血圧が上がらないよう食生活に気をつけるようになった。
- チャレンジカレンダーをいただいて、何かしなければ…と気づきました。この期間が終わってもずっとチャレンジは続けます。他のリフレッシュコースや生活習慣コース、食事コースの項目も参考にチャレンジしていきます。



会員生協で構成する「ひょうごまるごと健康チャレンジ実行委員会」では、より多くの方、さまざまな年代の方が自分に適した「健康チャレンジメニュー」をみつけて、継続的に健康づくりができることを目指し、次年度に向けた準備を始めています。



時間 ロ-723...

# 協同組合のかけ橋

JF

## JF 兵庫漁連

### 虹の仲間で森づくり ～神出神社(神戸市西区)周辺で開催～

12月7日(土)、神戸市西区にある雌岡山(神出神社周辺)で「虹の仲間で森づくり」が開催されました。この活動は「豊かな森が豊かな海を育てます」を合言葉に、豊かな海を次の世代に引き継ぐことを目的として、コープこうべとJF兵庫漁連が共同で取り組んでおり、今年で18回目の開催となります。県内各地からJFグループ関係者、コープこうべの組合員や行政関係者、企業関係者など約100名が集まりました。

JF兵庫漁連 田中 稔彦常務理事の挨拶に続き、NPO法人「ひょうご森の倶楽部」山下 広行会長より作業の注意事項の説明があり、全員で準備運動を行いました。

開会式終了後、ヘルメット姿の参加者は13班に分かれ、ひょうご森の倶楽部の指導員の方々に誘導され、次々に森に入りました。指導員の方から作業の説明を受けた後、参加者は周囲に気を配りながら、広葉樹や花の咲く樹を残し、常緑樹や蔓性の植物を除伐しました。中には少し大きな樹の除伐に挑戦されている参加者も見られましたが、周囲に声をかけながら安全に作業に取り組んでいました。約1時間半の作業を終えると、参加者の方から「作業前より日が入るようになった」と嬉しそうな声も聞こえてきました。

除伐作業終了後は、昼食・交流会を行い、締めは、生活協同組合コープこうべ 河端 晶子理事より閉会の挨拶をいただきました。

参加者の皆様には海と森のつながりを体感できる活動になったのではないかと感じています。



田中 稔彦常務理事挨拶の様子



除伐作業の様子



昼食・交流会の様子

JA

## JA あわじ島

### ほ場の環境を整えカリフラワーの 収穫量確保を目指す

南あわじ市の野田 康人さんは、JA あわじ島の職員として勤務していましたが、農業の魅力を語る生産者と関わるうちに自身も挑戦したいと思うようになり、兼業農家として水稻の栽培を開始しました。農作業に打ち込む中で農業の魅力にますます惹かれ、昨年3月末に退職し、専業農家に転向しました。

営農相談員からの勧めで始めたカリフラワーは、今年度初出荷を迎えます。ほ場が元々耕作放棄地であり作物が育ちにくい環境であったため、収穫量の確保を目指して土づくりに力を入れています。土づくりには、前作で残った土壌中の余分な肥料を吸収する効果がある緑肥ソルゴーを使用しています。緑肥ソルゴーは、根が深さ90cm以上に達する植物であり、作物の栽培に適した土壌の団粒化や下層土の硬化化等の効果も期待でき、土壌環境を整えるのに適しています。

また、カリフラワーはカビや細菌性の病気にかかりやすい傾向にあるため、25cmほどの高い畝を作り、土に余分な水分が含まれない水捌けの良いほ場づくりに注力しています。

これらの取組みにより、初年度から約2,400kgの収穫量を見込んでいます。JA あわじ島南淡支所賀集経済センター営農主任古住 彰梧さんは「野田さんは、カリフラワーに加え、広大な面積のほ場でタマネギ等の栽培にも力を入れており、南あわじ市の農業を牽引する存在となっています」と話します。

野田さんは今後、収穫量の安定化を図りながら、全体の約8割を高値で取引されるLサイズ(直径14cmほど)のカリフラワーにしていきたいと意気込みます。





～高齢者がターゲット～

貴金属を強引に買い取る訪問購入にご注意

Q

「不用な植木鉢を買い取りたい」と電話があったので自宅に来てもらった。用意していた植木鉢は見ずに「貴金属はないか」と執拗に聞いてくるので断りづらくなり、ネックレスと指輪を見せたところ2万円で買い取られてしまった。返品してほしい。(80代、女性)

A

消費者の家を事業者が訪問し物品を買い取る取引を「訪問購入」と言いますが、現在、このトラブルが増加しています。相談者の8割を60代以上が占め、「遺品整理」や「終活」に関心のある高齢者にトラブルが多いのが特徴です。また、買い取られるのはアクセサリ類などの貴金属が目立っています。

事例の他にも、「認知症で一人暮らしをしている高齢の母が、10万円で購入した金のネックレスを3千円で買い取られてしまった」などの相談も寄せられています。

訪問購入で商品を売却しても、契約日を含めて8日間はクーリング・オフ（無条件で申し込みの撤回や契約解除）ができます。事例の相談者もクーリング・オフの手続きを取り返されることになりました。

トラブルに遭わないためには、以下の点に注意しましょう。

- ①突然訪問して買い取りの勧誘することは法律で**禁止**されています。このような事業者は家に入れないようにしましょう。
- ②事前に消費者が買い取りを承諾した物品以外のものについて勧誘することは**禁止**されています。例えば、電話で着物の買い取りを承諾した場合、自宅に来たときに着物以外の貴金属を売ってほしいと勧誘してはいけません。
- ③事業者は物品の種類や特徴、価格、クーリング・オフ等について記載された書面を交付する義務があります。書面には物品が特定できるようにきっちり記載しているか確認しておきましょう。
- ④クーリング・オフ期間中は物品を引き渡さないことです。一度渡してしまうと取り返すことが困難場合があります。
- ⑤事業者と対応するときは、一人ではなく複数人で対応しましょう。

困った時にはあきらめずに消費生活センター（消費者ホットライン188番）に相談しましょう。

兵庫県立消費生活総合センター ☎ 078-303-0999

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

寒さのピークは越えたのでしょうか。私の生活している地域でも、まだ雪が舞うこともあったりして、まだまだ寒い日が続いているようにも感じます。こう寒い日が続くと春が待ち遠しくなりますね。この春は花見にでも行ってみようかという気分になります。

「ダークパターン」のお話をしていました。さて、突然ですが、ホテルや宿をウェブサイトです約したときを思い出してほしいのです。ウェブサイトを見ながら、宿泊したいエリアと値段、ホテルの雰囲気などを比較検討しますよね。そうしていると、「このホテルは現在〇名が見ています」と出てきたりしませんか？そして、気になっているホテルの空室は残り「1」と表示されている。焦りますよね…そこで、慌てて、残り「1」のホテルを予約してしまう。予約した後になって、よく考えると、別のホテルの方がよかったなど後悔することも。(私の実体験)このような、ウェブサイトの構造をダークパターンと呼ぶようです。ホテルの例のダークパターンは「社会的証明」と呼ばれていて、ほかにも6つの類型があり、ダークパターンは7類型に分けて考えることができます。次回も、もう少し見ていきたいと思います。



ひょうご消費者ネット  
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C  
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

# MOVE

## 映画上映会「島守の塔」

太平洋戦争末期の沖縄。絶望の淵に立たされながらも「命こそ宝」と訴え、後世に希望を託した二人の人物。

日時：2025年4月26日(土) 13:00~15:30 (予定)

会場：新開地アートひろば ホール  
 阪神・阪急・山陽・神鉄「新開地駅」8番出口より徒歩約5分  
 JR「神戸駅」ピエラ神戸口より徒歩約10分  
 神戸市営地下鉄「湊川公園駅」東改札口より徒歩約15分

定員：100人(申込順)

お問い合わせ・申し込み  
 兵庫県生活協同組合連合会

電話：078-894-3207 (平日9-17時) FAX: 078-894-3208  
 Email: hyogo@kobe.coop.or.jp



## 2025国際協同組合同年 (IYC2025)

国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標 (SDGs) に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合同年 (International Year of Cooperatives: IYC) に決めました。

また、2025年国際協同組合同年 (IYC2025) のテーマを「協同組合はよりよい世界を築きます」とし、2030年までのSDGsの実現をすすめるにあたり協同組合が果たす重要な役割を示しています。



### 国際協同組合同年

協同組合はよりよい世界を築きます

このロゴは、よりよい世界を築くために世界中の人々が互いに結びつく様子を表しています。持続可能な開発目標 (SDGs) のグラフィックアイデンティティから着想を得た3色で構成されており、SDGsの実現に向けた協同組合の貢献を表しています。

### 県連行事予定

- 3月3日 近畿農政局と近畿地区生協府県連との意見交換会
- 3月6日 初級経理学校
- 3月10日 生協活動委員会
- 3月11日 医療生協部会
- 3月12日 保健・医療・福祉研究会
- 3月14日 近畿地区府県連協議会
- 3月17日 災害対策委員会

### 編集後記

ひょうごまるごと健康チャレンジ 2024の集計結果が出て、参加された方が昨年よりも約1,000人増えたことに事務局一同大きな喜びを感じています。寄せられた感想の「がんばった!」「カラダ変わったかも」「習慣化してきた」「大変だった…」など30日の歩みが凝縮された声に、怠け者の私はとても背筋が伸びる思いです。顔は見えなくても、一緒に30回チャレンジをしている仲間がいる、と思うだけでも頑張れる気がする…と自分を鼓舞して、健康づくりに励みたいと思います。

2025年は7月下旬から実施予定です。皆様の参加お待ちしております!

〈権藤〉